学校番号	２１０２

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学　（啓林館）						
副教材等	ニューステージ新地学図表						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学とは、自然現象を追及する学問です。地球がなぜあるのか、山はなぜ存在するのか？そういったことを疑問に思い、今現在わかっていることから、疑問を解き明かしていきます。また地震や火山や、集中豪雨などの災害に対する防災の知識も、考えながら学んでいって欲しいと思います。

２　学習の到達目標

山がなぜできるのか、大陸はなぜ動くのか。それには全て理由があります。そのひとつひとつの理由を、科学的思考で考えていけるようになること。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然現象に注目し、それが起こる理由を考えている。	自然に起こっている自然現象から、過去や未来にまで当てはめて考えることができる。	自然現象に関する実験や観察などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。そして、科学的に探求する技能を身につけている。	自然現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>C</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">中間考査まで</td><td rowspan="3">固体地球の概観と活動</td><td>・地球の概観</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">a:地球で発生する自然現象に興味関心を持ち、意欲的に探求しようとする。
b:現在わかっている情報から、地球の過去について考えることができる。
c:地形等の観察などを行い、的確に記録、整理している。そして、科学的に探求する技能を身につけている。
d: プレートテクトニクス理論について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。</td><td rowspan="3">学習状況
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>・プレートテクトニクス</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>・地球の活動</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">期末考査まで</td><td rowspan="3">地球の歴史</td><td>・地表の変化と地層</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:自然現象に興味関心を持ち、意欲的に探求しようとする。
b: 現在わかっている情報から、地球の過去について考えることができる。
c:地層や岩石を観察して、的確に記録、整理している。そして科学的に探究する技能を身につけている。
d:地球の歴史について、体系的に理解している。</td><td rowspan="3">学習状況
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>・地球・生命・環境の歴史</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>・私たちの日本列島</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。